

アルゼンチンの市民社会の動き

- ✓ 運営委員会 (Steering Committee) の設置：日本からも参加。
- ✓ 課題別のワーキンググループにて議論、サミットに向けた提言をまとめていく：現在、以下の7つのワーキンググループがあり、アルゼンチン政府との対話も進めている。
 - ①反腐敗、②国際金融システム、③雇用・教育・包摂、
 - ④環境・気候・エネルギー、⑤ジェンダー、⑤投資・インフラ、
 - ⑦ローカルからグローバルへ（スペイン語で実施）、⑧国際保健
- ✓ 国際諮問委員会：オックスファム、ハインリッヒ・ベル財団（ドイツ）、CAN、Transparency Internationalなどで構成。
- ✓ 8月6-7日にCivil20 (C20) を開催→サミットへのインプット

※G20の7つの
「エンゲージメント・グループ」
Civil 20 (=C20) はその一つ



2019年G20@日本に向けて



- ✓ G20市民ネットワーク準備会（仮称） の設立
- ✓ 同準備会の事務局は以下の二団体が共同で担う
 - 国際協力NGOセンター（JANIC）
 - SDGs市民社会ネットワーク（SDGsジャパン）
- ✓ トロイカ体制への対応として、アルゼンチンC20における運営委員会の電話会議、F2F会議等への出席、C20本会合への出席を行う
- ✓ SDGsジャパンの活動の一環として、G20に関する勉強会（第一回）を2月に実施
- ✓ 2019年に向けて、大阪をはじめとする各地のNGO/NPOとの連携を進める予定